

GM破綻、国有化へ



米ミシガン州デトロイトのGM本社＝3月（共同）

【ニューヨーク31日共同＝増田和則】米自動車最大手ゼネラル・モーターズ（GM）は6月1日朝（日本時間同日夜）、連邦破産法11条（日本の民事再生法に相当）の適用をニューヨークの連邦破産裁判所に申請する。米製造業史上で最大の経営破綻（はたん）で、オバマ大統領は同日正午前（同2日未明）、米政府が301億ドル（約2兆9000億円）を追加融資するとともに、GMを事実上国有化し、早期再建へ全面支援する方針を表明する。米政府高官が31日発表した。

破産法11条を1日申請 米政府発表、再建へ全面支援

同社は環境技術対応で日本メーカーに後れを取ったことや金融危機から、極度の販売不振に陥っていた。

4月末のクライスラーに続きビッグスリー（米大手3社）の2社が約1カ月間で破綻。フォード・モーターを含む3社が約80年間にわたり世界の自動車産業をリードした時代は、幕を閉じる。

オバマ政権は、GMが清算されれば経済的打撃が大きいと判断。救済のため再建後の「新生GM」株の約60%を取得し国有化する。米産業史上でも異例な政府介入に踏み切る。しかし経営立て直しは前途多難で、政権にとり大きな賭けとなる。こ

れまでの分を含めて米政府の資金支援は約500億ドル（約4兆8000億円）に達する見通し。カナダも国と州政府で95億ドル（約9000億円）を融資し、新生GM株約12%を保有する。

米政府とGMは、難航していた債務約270億ドル（約2兆6000億円）の削減に、債権者の54%が応じたことから、いわゆる「事前調整型」の破産法申請が可能になったと判断。60～90日間の再建手続き終了を目指す。

GMは1日正午すぎ、ヘンダーソン最高経営責任者（CEO）がニューヨークで記者会見する。



発行所
山形新聞社

山形市旅籠町2-5-12
電話 代表023(622)5271

Copyright (c) 2009
Yamagata Shimbun

2009年
6月1日
〈月曜日〉

速電
報版子

購読申し込み
(9-17時)

0120-81-8040

やまがた
ニュースオンライン

<http://yamagata-np.jp>

Mbi | eやましん

<http://yamagata-np.jp/k/>



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。